



看護学科授業「災害看護学」において、 本学卒業生DMAT隊員 稲垣聖司さんが講義

本学看護学科では、4年次に「災害看護学」を開講しています。

「災害看護学」は、1995年の阪神・淡路大震災を契機に飛躍的に発展した看護学の一つの専門領域で、特に災害の多い日本においては、必要な看護の領域です。

5月16日の第6回授業「急性期における看護」では、本学卒業生であり、DMAT隊員として活躍する短大第1期生 稲垣聖司さんが来校され、後輩にあたる4年生に実践経験を交えながら、災害発生直後の看護について講義くださいました。

稲垣さんの本授業のための来校は、3年目となります。宮古島在住の稲垣さんは毎年、後輩である履修生にお土産にもってきてくれます。履修生は、思いがけないお土産にびっくりしながらもとても喜んでいました。

稲垣さん、来年もまた、後輩のために母校に帰ってきてくださいね。



授業風景



「災害時も平時も『人を見る』
ことが大事」と後輩に語る
稲垣さん



授業後、卒業旅行の相談
「いつでも連絡を」と気さくな
稲垣さん